

奥原弘人先生を悼む

清水 建美

Tatemi Shimizu: Obituary of the late Mr. Hiroto Okuhara

信州の植物研究の第一人者として長年信州の植物研究を引っ張ってこられ、「長野県植物誌編纂委員会」の初代委員長を務め、34年間にわたって本研究会を導いてこられた奥原弘人先生が旧臘6日に逝去されました。享年95歳でした。

先生は1906(明治39)年に長野県木曾郡奈川村にお生まれになり、1927(昭和2)年長野県師範学校ご卒業、同年より県下各地で教鞭をとられた後、1962(昭和37)年に退職されました。この間、樋川・読書村各小学校で教頭、開田・大桑・山口・王滝村各小学校で校長を務められる傍ら木曾谷を中心とした植物研究を展開、退職後は長野県全域を対象に植物研究に没頭されました。植物分野でのご活躍ぶりは御嶽駒ヶ岳総合調査会調査委員および委員長、信濃教育会臨地講習会講師(昭和43-58年)、初代長野県植物誌編纂委員長、村誌編纂専門委員7か村の役職を務められたことでもよくうかがい知ることができます。また、いくたびも専門雑誌に投稿されたり、植物分類、地理学会のイクスカーションの案内や植物分類学会での特別講演を引き受けられるなど、専門の学会でも随分活躍されました。このようなご活躍により1989(平成元)年には勲五等瑞宝章(教育功労)を受けられました。先生は熱心に後進の指導にも当たられました。長野県はもとより県外の植物愛好の方で老若を問わず先生から薫陶を受けられた方は決して少なくないと思います。2000(平成12)年には、植物地理・分類学会の学会賞をとのお話がありましたが、すでに体力はなく、北陸まで出かけるのは不可能と辞退されたことは返す返すも残念なことでした。

ここに長野県の植物研究グループ各位に代わりまして、心から先生のご冥福をお祈り致します。以下に先生の主なご著作を列記し、先生のご活躍を偲びたいと思います。

- 1951年 賤母国有林の植物 信濃教育 (771):25-29.
- 1956年 木曾谷の気生欄 植物研究雑誌 31:316-320.
- 1958年 キソキイチゴについて 北陸の植物 7:126-128.
- 1961年 木曾谷のミツバツツジ類 植物研究雑誌 36:93-94.
- 1969年 マルバノキの分布について 北陸の植物 17:116, 119.
- 1969年 ハスノハイチゴの分布について 植物分類, 地理 3:189-191.
- 1971年 木曾谷の植物 木曾教育会
- 1978年 長野県野草図鑑 上, 下, 別巻 信濃毎日新聞社
- 1980年 信州の高山植物(共著) 信濃毎日新聞社
- 1982年 サクラ属の新雑種(共著) 長野県植物研究会誌 (15):1-3.
- 1983年 本郷村の植物(共著) 本郷村誌編纂委員会
- 1985年 木曾の植物 信濃毎日新聞社
- 1989年 麻績村の植物 麻績村誌編纂委員会
- 1990年 坂北村の植物 坂北村誌編纂委員会
- 1990年 信州の野草 信濃毎日新聞社
- 1993年 信州の珍しい植物 信濃毎日新聞社
- 1994年 信濃野生植物総目録 1994(自費出版)
- 1995年 山口村誌 山口村の植物 山口村誌編纂委員会
- 1997年 御嶽の植物 木曾教育会
- 1997年 木曾おおくわの植物 大桑村教育委員会
- 1997年 長野県植物誌 スミレ科・ヤナギ科・セリ科・タンポポ属 信濃毎日新聞社
- 1998年 奈川村の植物 奈川村教育委員会 (長野県植物研究会名誉会長)